

EF-MDA

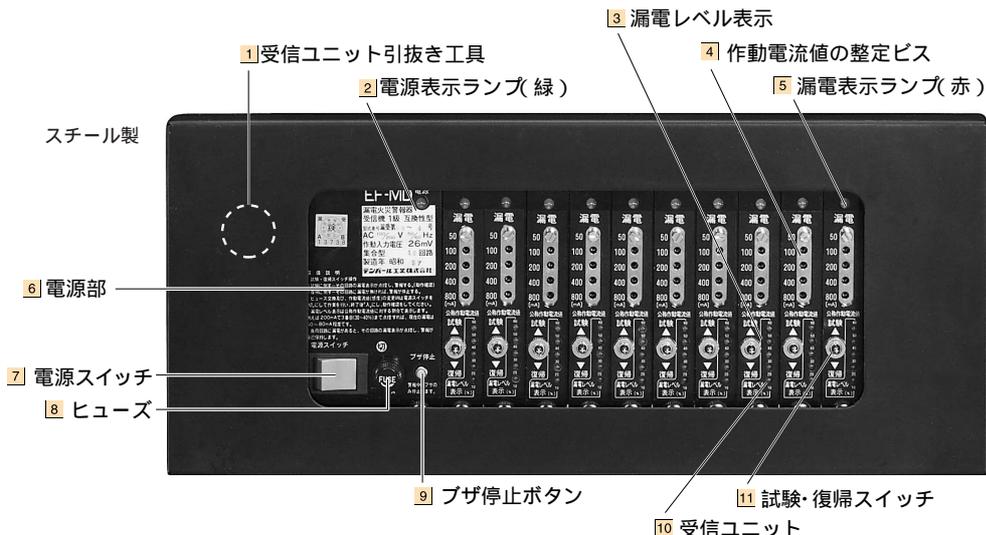
集合型10回路 / 埋込形 / 国家検定合格品

情報機器

警報器・検知器

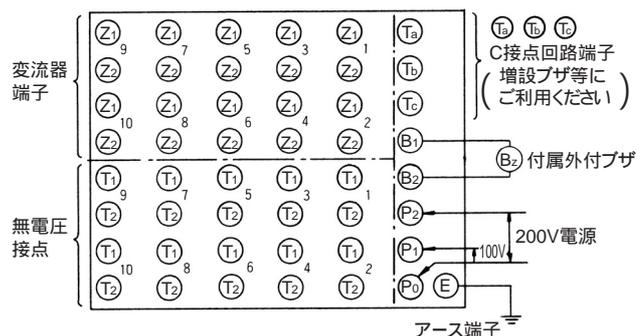
計測器

産業機器



端子配列

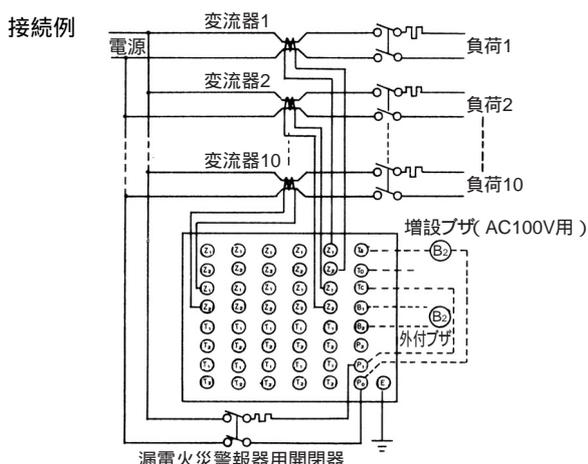
注意 電源は200Vの時P₀-P₂、100Vの時P₀-P₁に接続してください。
Z₁-Z₂(1~10)は変流器端子ですので電圧をかけないでください。
T₁-T₂(1~10)は各回路ごとのa接点端子です。
T_a-T_b-T_cは共通のC接点回路端子で増設ブザー等にご利用ください。



各部の説明

- 1 受信ユニット引抜き工具: 受信ユニットはプラグイン式です。この引抜き工具で引出してください。
- 2 電源表示ランプ(緑): 受信機の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ、専用開閉器を確認してください。
- 3 漏電レベル表示: 現在の漏電状態を設定作動電流値に対する割合で順次点灯します。
- 4 作動電流値の整定ビス: 設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んでください。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。設定する場合は、電源スイッチを切にしてください。
- 5 漏電表示ランプ(赤): 漏電が発生するとランプが点灯し自己保持します。
- 6 電源部
- 7 電源スイッチ: 受信機の制御電源を入切できます。ヒューズ取替時、作動電流値の変更時に切にして作業してください。常時は入にしておいてください。
- 8 ヒューズ: ガラス管ヒューズMF51(φ5)、1.5Aを使用してください。
- 9 ブザ停止ボタン: 警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰するので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。
- 10 受信ユニット: プラグイン構造なのでメンテナンスが容易にできます。表示はすべて発光ダイオード(LED)使用。
- 11 試験・復帰スイッチ

試験(上方向): 本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。(変流器の接続が必要です)
復帰(下方向): 漏電がなければ警報が復帰します。



ブザの増設

ブザを増設する場合は、外部用補助接点(無電圧接点)を利用して下さい。
消防法施行規則による増設義務のある場合は、必ず鑑定合格品をご使用ください。